

令和6年4月24日

令和6年新嘗祭献穀者について

令和6年新嘗祭の本県からの献穀者が、下記のとおり決定しましたので、お知らせします。

記

1 献穀者の市町村・氏名・献穀予定穀物・品種

鏡石町	<small>そえた</small> 添田	<small>たかお</small> 孝夫	氏 (68歳)	精米	県オリジナル水稻品種「天のつぶ」
浪江町	<small>はんがい</small> 半谷	<small>よしのり</small> 啓徳	氏 (37歳)	精米	県オリジナル水稻品種「天のつぶ」

2 新嘗祭献穀の概要

献穀は、宮中の恒例行事の中で最も重要な儀式である「新嘗祭」に供するための新穀を、各都道府県の精農家が献納するものであり、明治25年以来、現在まで続いている伝統的な行事です。

献穀者については、県から2名を推薦し、掌典長から承知した旨の回答があり、決定したものです。

〔問い合わせ先〕

福島県農林水産部水田畑作課

主幹兼副課長 矢吹 勝利

電話 024-521-7359 (直通)

(内線 3201)